

東京都教育委員会「令和9年度文化・スポーツ等特別推薦実施校の選抜方法等一覧」より

	人数	文化・スポーツ特別推薦の基準	観点別学習 状況の評価	評定	調査書	面接	小論文・ 作文	実技検査	学校設定 科目	今後3年間の数値目標等
美術	男女・ 2	以下の全てに当てはまる者 ○美術に興味・関心を持ち、活動意欲・向上心のある者 ○入学後は美術部に所属して3年間活動する意志があり、共同制作や校外で展覧会等、本校の美術を通しての地域貢献に取り組む者 ○本校において学業と部活動を両立することができる者	—	○	500	個人200	—	300	—	○美術系上級学校（大学・専門学校）進学希望者の現役合格 ○校外展（東京都高等学校文化連盟 美術・工芸部門中央展）への出展 ○共同制作（巨大貼り絵）を通しての地域貢献

東京都教育委員会「令和9年度文化・スポーツ等特別推薦の実技検査の内容等一覧」より

内容 (種目等)		実 技 検 査			
		検査日	検査会場	検 査 内 容	持参するもの
美術	男女	1月27日 (水)	教室	○鉛筆によるデッサン（B3版画用紙を使用） ※画用紙と画板は本校で用意 ○実技検査は率直な描写力、堅実な写生力を評価する。 ○個人面接の一部で「自己PR」を実施する。「自己PR」は個人面接のうち2分以内で、自己制作の作品（又はその写し）を持参して、そのPRを行う。	・鉛筆（2B～4B程度） ・消しゴム（練り消しゴム可） ・自己PRに必要な作品・資料

「実技検査のための準備」

「入学後の指導」

「学習環境としての施設」……

“百聞は一見に如かず”です。ぜひ田無高校美術部・部活動体験にお越しください。

令和8(2026)年

10月24日(土)12:30～

11月14日(土)12:30～

11月21日(土)12:30～

12月12日(土)12:30～

12月14日(月)15:00～

各回とも本校美術室
(所要標準時間1時間程度)

保護者の方同伴でも、中学生の生徒さんのみでも構いません。
鉛筆デッサン中心に、体験的な実技検査対策をご案内します。
今までの作品（またはその画像等）を持参いただければ、受検に対応したアドバイスも行います。複数回の参加も歓迎です。
右の2次元コードから、お申し込みください。もし読み取れない場合、本校HPから、またはお電話でお申し込みください。
代表電話 042-463-8511（受付平日 9:00～17:00）



各日前日の16:00までにお申し込みください！

都立田無高校で 美術推薦が 始まります！

令和9年度入学者選抜



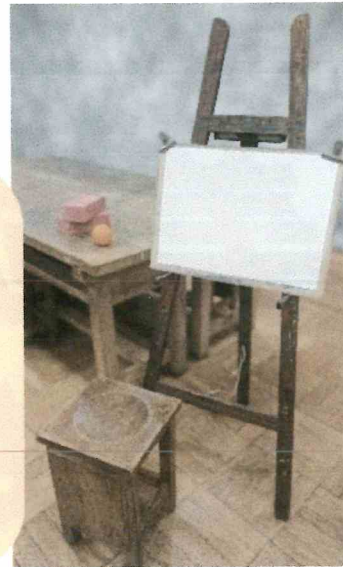
Tokyo Metropolitan Tanashi High School will begin a Special Art-Based Recommendation with the 2027 entrance selection.

あなたと一緒に——田無で美術を学ぶ高校生活を！

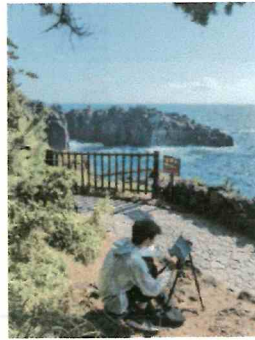
初心者歓迎！
基礎から本格を学べます。

「美術部に入っていない」「上手じゃない」「賞を取ったことない」……そんな自己評価は気にしないでください。重要なのは絵を描く事、美術が好きである事。全てはそこから始まります。また“上手な絵”が“良い絵”とは限りません。

田無高校は、「自分にとってどう見えるか」を大切に、自分の眼で見つめ正直に描く、「堅実な写生」を評価します。素朴でも素直な、生涯にわたって美術に親しむ豊かな生活を実現できるように、全力で指導します。



多彩な活動で
充実の高校部活を。



日常的なクロッキーやデッサン会を通して、基礎から本格的な力を養成します。夏季休業中には合宿を催行し、野外写生を通して風景画制作の力も培い、集団行動の中で親睦を深めていく予定です。また校内での展覧会や都内の都立私立100校以上が参加する中央展（於・上野都美術館）にも毎年出品しています。

共同制作の
巨大貼り絵は団結の象徴

9月の文化祭を目指し、1学期～夏休みにかけて制作される共同制作。一滴の絵の具も使わずにただ色の紙を貼り付けて名画を再現する「巨大貼り絵」の手法は、授業における美術選択者と美術部の団結の結晶です。校内有志も力を合わせ、高さ10mにそびえる大作を作り上げる達成感は類を見ません。新聞・テレビ等のメディアにも報道され注目を浴びています。



令和7（2025）年本校文化祭で
共同制作「モネ《日傘の女性》」



令和8（2026）年本校文化祭で
共同制作「ゴッホ《夜のカフェテラス》」

美を味わう喜びも共に。
美術展で巨匠から学ぶ。

良い作品を創造する秘訣のひとつ——それは、良い作品とたくさん出会う事。田無高校美術部では、名作の美術展に足を運び、巨匠の作品から直接の感動を受ける事を重視します。年に複数回、美術館を訪問して傑作の美を味わう体験は、自らの作品を振り返る格好の機会。名作鑑賞を教科書の中の過去作品として見るのでは決してなく、自分の表現の大事な道標として、指導します。



モネ展（アーティゾン美術館）鑑賞
令和8（2026）年4月



大ゴッホ展（上野の森美術館）鑑賞
令和8（2026）年8月

先輩達も応援します。
美を愛する未来のスタート。



入学後は、都美術教職歴30年以上の専任教員が指導にあたります。また指導員には美大大学院修了の卒業生等も指導にあたります。

指導教員の下、卒業生達は都内で定期的にグループ作品展を開催しています。高校卒業後、美術系進路を志す生徒には徹底した進路指導を、またそうでない生徒にも生涯にわたり美術を愛好する基礎力を養い、多くの先輩からの刺激とアドバイスを提供します。

変化する時代の中、
最も大切な事を追求します。

AIが発達し誰でも簡単に画像を制作できる時代、最も大切な事は何でしょうか。田無高校美術部は、「自分の眼で見つめる力」を最大に重視します。そして直接見つめた実感を、やはり自分の手で直接表現する事こそ、最大最高の「個性の尊重」と考えます。人間の肌感覚を決して過小評価する事なく、「自分の見える通り」に描く正直な表現を強く応援します。

